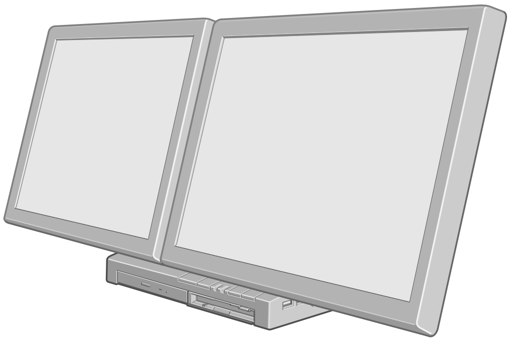
Panasonic



パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 CF-82 シリーズ

Panacom
LCW
2000 XP

本書以外のマニュアル

操作マニュアル

画面で見るマニュアルです。本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。見かたについては17ページを参照してください。

もくじ

使用上のお願い / 状態表示ランプ / スタンバイ・休止状態機能 / セキュリティ機能 / 省電力機能 / ダブルディスプレイ /USER ボタン /CD ドライブ /PC カード /RAM モジュール /LAN 機能 / プリンター / 外部ディスプレイ /USB 機器 / セットアップユーティリティ / 技術情報 / エラーコードが表示されたら /DMI ビューアー / 困ったときの Q&A

上手に使って上手に節電

もくじ

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

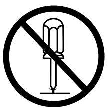
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

本機を改造しない また、分解しない



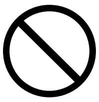
分解禁止

⚠警告
高電圧に注意
本体を分解・
改造しない

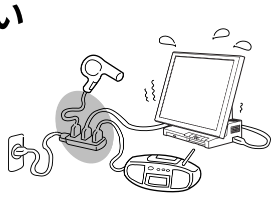
［本体に表示した事項］

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない



禁止

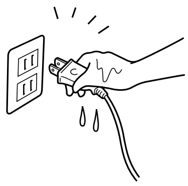


たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

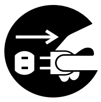


ぬれ手禁止

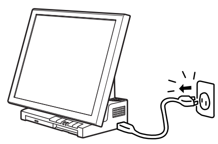


感電の原因になります。

拡張ボードなどを着脱するときは電源プラグを抜く



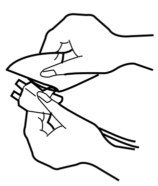
電源プラグを抜く



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

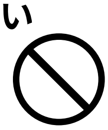




プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない



禁止

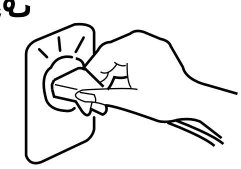


水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む





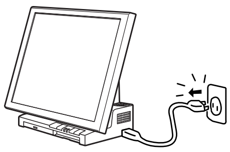
挿し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く



・本体が破損した
・本体内に異物が入った
・煙が出ている
・異臭がする
・異常に熱い

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

〈傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない〉

禁止



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

CD ドライブの内部をのぞきこまない

禁止

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。

● 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

ひび割れたり変形したりしたCDは使用しない

禁止

高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。

● 円形でないCDや、接着剤などで補修したCDも同様に危険ですので、使用しないでください。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

● 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

使用上のお願い

本取扱説明書の表記上の規則

[スタート]－[検索]	:画面の「スタート」をクリックした後、「検索」をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
Enter	:キーボードのEnterキーを押します。
Ctrl + Esc	:キーボードのCtrlキーを押しながら、Escキーを押します。
Windows 2000	:Microsoft® Windows® 2000 Professional についての説明です。
Windows XP	:Microsoft® Windows® XP Professional についての説明です。
☞操作マニュアル	:操作マニュアルは画面で見るマニュアルです。17ページに記載の方法で起動し、参照してください。

本書では、ダブルディスプレイモデルの Windows 2000での操作を基本に説明しています。

- Administrator またはコンピューターの管理者以外の権限でログオンした場合、実行できない機能があったり、画面の表示が本書と違ったりすることがあります。
  このような場合は、Administrator またはコンピューターの管理者の権限でログオンして、操作してください。
- 別売り品については、最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、下記および次ページのことに注意してください。

本装置はレーザ利用機器です。
ご注意- ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザ放射の被曝をもたらします。分解や修理は行わないでください。

クラス1レーザ製品

ハードディスクのデータ保護

- コンピューターに衝撃を与えない。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
- Windows* やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（🛢）のアクセスランプが点灯中は、電源を切らない。
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]メニューから操作を終了してください。
  (☞16 ページ)
- 磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。
  ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。
- ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障・不本意なデータ更新・消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。(☞操作マニュアル『セキュリティ機能』)

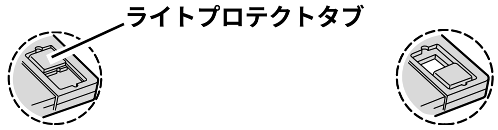
*正式名称 Windows 2000 ：Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。本書では Windows または Windows 2000 と表記します。
Windows XP ：Microsoft® Windows® XP Professional operating system です。本書では Windows または Windows XP と表記します。

ハードディスク保護

ハードディスク保護を有効に設定すると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータを読み書きしようとしてもできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じ設定にしておいてください。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

フロッピーディスクのデータ保護

- フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯中に電源を切ったり、フロッピーディスク取り出しボタンに触れたりしない。
  フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
- 一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合はその前に内容を確認する。
  フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。
- 書き込み禁止タブ（ライトプロテクトタブ）を使う。
  重要なデータを保存している場合におすすめします。
  書き込み禁止の状態にするとデータの削除や上書き保存を禁止することができます。



- フロッピーディスクの取り扱い。
  データの破損やフロッピーディスクが本体から取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
  - シャッターを手で開けない
  - 磁気を帯びたものを近づけない
  - 高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
  - ラベルを重ねてはらない

コンピューターウィルス

最新のウィルスチェックプログラム（市販）を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。

- コンピューターを起動するとき
- データを入手したとき
  フロッピーディスクなどの外部メディアやネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ（圧縮されている場合は、圧縮解凍後のファイル）を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

ディスプレイの取り扱い

- ディスプレイは衝撃や振動に弱く、破損しやすいため、持ち運びの際には十分ご注意ください。
- カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で製造されていますが、ちょっとした環境変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができることがあります。これらの画素が0.002%以下（有効画素が99.998%以上）のものは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

周辺機器を使用する場合

コンピューター本体、周辺機器、ケーブル等の故障を防ぐため、次の点に注意してください。
また、本書および操作マニュアルとあわせて、使用する周辺機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 仕様に適合した周辺機器を使用する。
- コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
- 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向き等を確認する。
- 固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
- ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

コンピューターの廃棄・譲渡時におけるディスク内のデータ消去について

最近、コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。
したがって、そのコンピューターを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。
ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

・データを「ごみ箱」に捨てる
・「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
・「削除」操作を行う
・ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
・再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。
したがいまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このコンピューターのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様がコンピューターを廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録されたすべてのデータを、お客様の責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(ともに有償) を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

データ消去のための専用ソフトウェア・サービスについて：

データの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。
＊パナソニックPCのホームページ（http://panasonic.biz/pc/prod/common/eco.html）
＊パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））
＊リース、レンタル会社への返却については、リース、レンタル会社の問い合わせ窓口

＜CF-82JP/KPシリーズのみ＞
ハードディスク内のデータを消去するハードディスクデータ消去ユーティリティが搭載されています。
ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。ハードディスクデータ消去ユーティリティについて詳しくは、「ハードディスクの内容をすべて消去する」（☞ 30 ページ)をご覧ください。

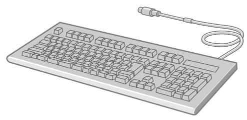
また、ハードディスク内にお客様がインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

はじめて使うとき

お買い上げになってからはじめて Windows の操作を始めるまでの操作手順を説明します。

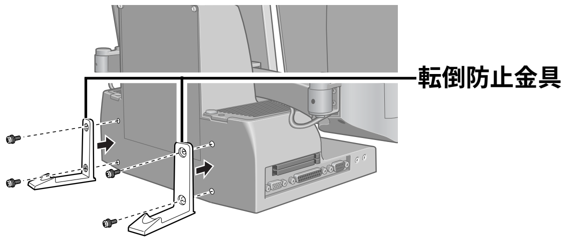
1 付属品を確認する

コンピューター本体以外に以下の部品が付属しています。
万一、足りない場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

電源コード .... 1 本	マウス .... 1 個
 （AC 100 V用）	
プロダクトリカバリー CD-ROM	キーボード .... 1 個
Windows 2000 .... 2 枚 Windows XP .... 3 枚	
印刷物	ダブルディスプレイモデルのみ
●取扱説明書（本書）　●Windows マニュアル ●保証書（梱包箱に貼り付けられています。） ●ご愛用者登録カード兼保証期間延長依頼書	●転倒防止金具............. 2 個 ●ネジ .... 4 個

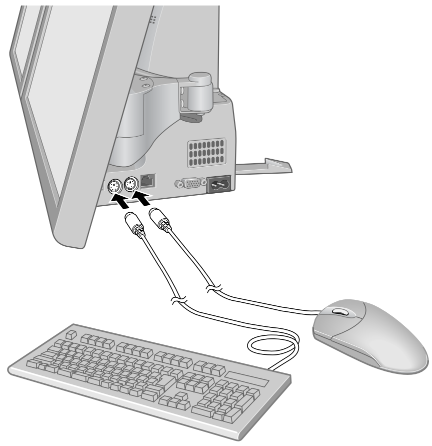
2 <ダブルディスプレイモデルのみ>
本体背面に転倒防止金具を取り付ける

付属のネジ（4 個）でしっかりと取り付けてください。



3 ケーブルを接続する

付属のマウスおよびキーボードを接続してください。



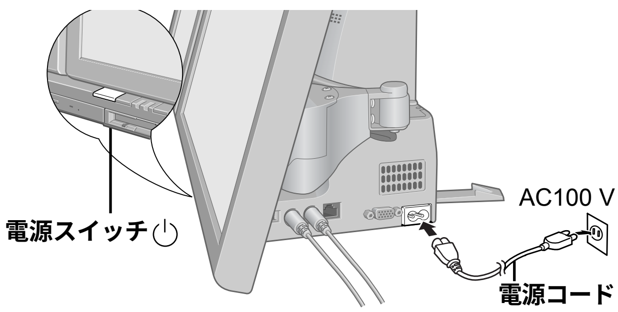
お願い

- テレビ、ラジオ、無線機や強い磁界を発生する装置の近くで使用しないでください。
- 油煙やたばこの煙の多いところには設置しないでください。CDドライブのレンズの寿命が短くなることがあります。
- 水平で安定した場所に設置してください。

4 ソフトウェア使用許諾書（☞ 29ページ）に同意する

電源スイッチの上に貼られたシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

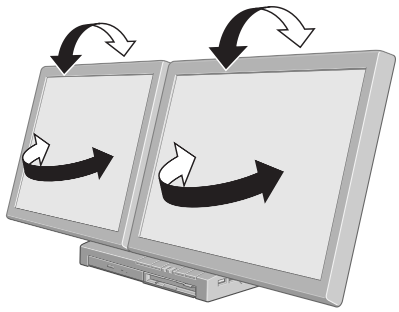
5 電源コードを接続する

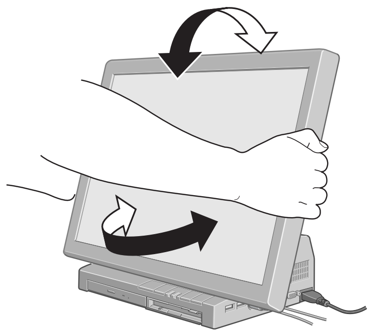


はじめて使うとき

6 画面の角度を調整する

キーボードを本体から離して、ディスプレイを持って見やすい角度に調整してください。キーボードを近づけていると、ディスプレイがキーボードにあたって調整しにくい場合があります。



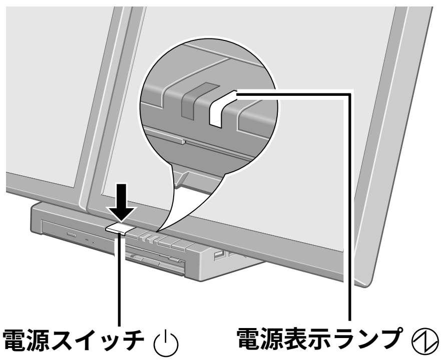


お願い

- ディスプレイと台座の接続部を持ったり、すき間に指を入れたりしないでください。また、ディスプレイ下部にも指を入れないでください。角度を調整するとき、指を挟むおそれがあります。
- ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CDドライブのアクセスランプ点灯中は、画面の角度を調整しないでください。
- ダブルディスプレイモデルの場合、手順8の「Windowsをセットアップする」が終わるまで、画面を縦長に回転させないでください。

7 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間押したままにし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから手を離します。



お願い

- 電源表示ランプが点灯したことを確認した後、Windowsのセットアップが完了するまでは、電源スイッチに触れないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。

お知らせ

工場出荷時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと画面が消えます（電源表示ランプは緑色に点灯）。
この場合、マウスかキーボードの操作を行うと画面が元の状態に戻ります。
Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。

8 Windows をセットアップする

お知らせ

- カーソル（↖）の移動やボタンなどの選択（クリック）には、マウスを使います。（☞ 16 ページ）
- Windows が起動するまでの間、画面が縦長に表示される場合があります。

Windows 2000

お願い

「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」画面が表示されるまで、キーを押したりマウスを動かしたりしないでください。

①「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windows のセットアップが中止されます。

③「地域」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。
名前は必ず入力してください。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名と Administrator のパスワード」画面で、コンピューター名を入力し、Administratorのパスワード（省略可能）を設定して、[次へ] を選ぶ。

お願い

●設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindows 2000を使用することができません。
●ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows 起動後、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
以降の操作は、使うネットワークシステムにより異なります。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で[このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している]を選び、[次へ]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑨「ネットワーク識別ウィザードの開始」画面で、[次へ]を選ぶ。
⑩「このコンピュータのユーザー」画面で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑪「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面で[完了]を選ぶ。
⑫ 手順⑤で設定した Administrator のパスワードを入力して[OK]を選ぶ。

お知らせ

●以降、起動の際は、手順⑤で設定したパスワードの入力が必要です。

Windows XP

お願い

「Windows XP セットアップウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、マウスを動かしたりしないでください。

①「Windows XP セットアップウィザードの開始」画面で ［次へ］ を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で内容をよく読んで「同意します」を選び、［次へ］ を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域と言語のオプション」画面で地域と言語を設定して ［次へ］ を選ぶ。
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名（省略可能）を入力して、［次へ］ を選ぶ。
⑤「コンピュータ名と Administrator のパスワード」画面でコンピュータ名を入力し、Administrator のパスワード（省略可能）を設定して ［次へ］ を選ぶ。

お願い
- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。（☞ 11ページ）
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、［スタート］-［コントロールパネル］-［ユーザーアカウント］で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で日付と時刻、タイムゾーンを設定して［次へ］を選ぶ。
⑦「ネットワークの設定」画面で［標準設定］を選んで、［次へ］を選ぶ。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で［このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している。このコンピュータを次のワークグループのメンバにする］を選び、［次へ］を選ぶ。

コンピューターが自動的に再起動します。

9 バックアップディスクを作成する

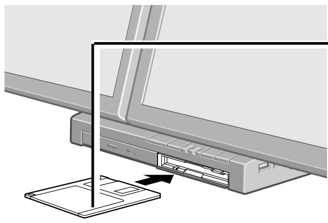
書き込み可能な状態にした1.44 Mバイトフォーマットの2HDフロッピーディスク（枚数は画面に従ってください）を準備し、以下の操作でディスクを作成してください。また、作成したディスクにはディスク名を記載したラベルを貼ってください。

① Windows 2000
［スタート］-［プログラム］-［Panasonic］-［バックアップディスク作成］を選ぶ。
Windows XP
［スタート］-［すべてのプログラム］-［Panasonic］-［バックアップディスク作成］を選ぶ。

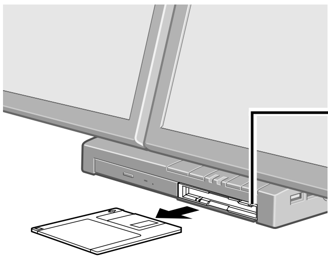
② 画面に従って操作する。

お知らせ
バックアップディスクは、作成する必要がない場合もあります。この場合、「バックアップディスクを作成する必要はありません。」というメッセージが表示されます。

●フロッピーディスクのセット



●フロッピーディスクの取り出し



●フロッピーディスクラベルの名前：ファーストエイド FD

上記に加え「アップデートFD」の作成画面が表示された場合は、画面に従ってフロッピーディスクを必要枚数準備し、作成してください。

お願い
- 作成したバックアップディスクは、何らかのトラブルが発生しコンピューターが正常に動作しなくなったときなど、再インストールを行う必要が起こったときに使います。作成画面が表示された場合は、画面に従って必ず作成し、大切に保管してください。
  バックアップディスクの作成中は、他のプログラムを動作させないでください。
- バックアップディスクを作成できない場合、ご相談窓口にご相談ください。またはフロッピーディスクの作成中に「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、［OK］を選んだ後、ご相談窓口にご相談ください。
- フロッピーディスクアクセスランプが点灯中にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

Windows XP について Windows XP

Windows の設定、インストールしているアプリケーションソフトやドライバーによって、Windows のメニューや表示が本書と異なったり、一部の機能（パスワードリセット機能など）が動作しない場合があります。

ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する

[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]-[ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]で「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、起動時および終了時の操作が以下のように異なります。

「ようこそ画面を使用する」の設定	起動時の操作	終了時の操作
チェックマークを付けている場合	ユーザーの名前のリストが表示され、ログオンしたいユーザー名を選ぶ。	[スタート]-[終了オプション]-[電源を切る]を選ぶ。
チェックマークを付けていない場合	ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選ぶ。	[スタート]-[シャットダウン]-[シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。

●「ユーザーの簡易切り替えを使用する」
この設定にチェックマークを付けていると、複数のユーザーがコンピューターを使用している場合、ログオンし直さずに別のユーザーに切り替えることができます。「ようこそ画面を表示する」にチェックマークを付けていない場合やネットワークのドメインに参加している場合などは、この機能は使えません。また、アプリケーションソフトによっては、この機能を使うとコンピューターが正しく動作しない場合があります。
本書では、チェックを付けている場合の手順で説明します。

スタートメニューおよびコントロールパネルの表示について

スタートメニューおよびコントロールパネルの表示を以前のバージョンのWindowsのスタイルに変更することができます。

●スタートメニュー
1 [スタート]を右クリックして[プロパティ]を選ぶ。
2 [[スタート]メニュー]を選んで「クラシック[スタート]メニュー」を選ぶ。

●コントロールパネル
[コントロールパネル]を表示し、[クラシック表示に切り替える]を選ぶ。

本書では、Windows XP のデフォルト設定の手順（クラシック表示を使用しない手順）で説明します。

パスワードリセット機能について

Windowsのログオンパスワードを忘れてしまったときのために、現在のパスワードを解除して新しくパスワードを設定するパスワードリセット機能があります。この機能を使うには、以下の手順に従ってパスワードリセットディスクを作成しておいてください。

1 [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]を選び、「変更するアカウントを選びます」の中からログオンしているアカウントを選ぶ。
2 [関連した作業]の「パスワードを忘れないようにする」を選ぶ。以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成してください。
  - 作成したディスクは大切に保管してください。
  - パスワードリセットディスクで解除できるのは、アカウントごとのログオンパスワードです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。

新しいユーザーアカウントを作成する場合

「コンピューターの管理者」のアカウントを少なくとも 1 つ作成する必要があります。
このため、1 人目のアカウントを「制限」ユーザー（制限付きアカウントのユーザー）で作成することはできません。
また、ようこそ画面で、Administrator のパスワード（初回起動時の Windows のセットアップ中に設定したパスワード）の入力を要求されることはありません。

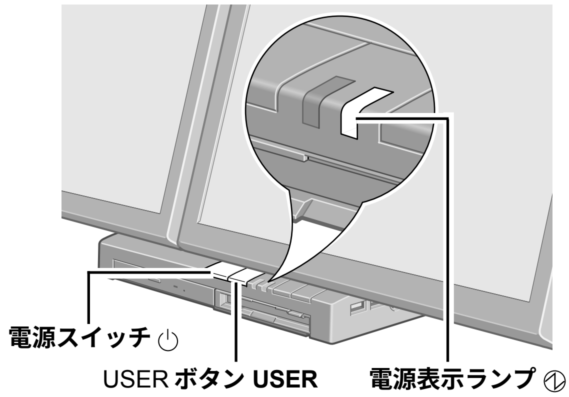
操作を始める／終わる

操作を始める

1 電源を入れる

以下の 2 とおりの方法があります。

- 電源スイッチを約 1 秒間押したままにし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから手を離す。
- USER ボタンを押す。Windows 起動後、USER ボタンに登録してあるアプリケーションソフトが起動します。（☞ 操作マニュアル『USER ボタン』）



お願い

- 電源表示ランプが点灯したことを確認した後、Windowsが完全に起動するまでは以下のことを行わないでください。
  - ・電源スイッチおよび USER ボタンを押す。
  - ・キーボード、マウスを操作する。
- USER ボタンで電源が入らない場合は、電源スイッチを押してみてください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで 10 秒以上あけてください。

●起動するデバイスを選択する

起動するデバイスの選択は、コンピューター起動時に行います。

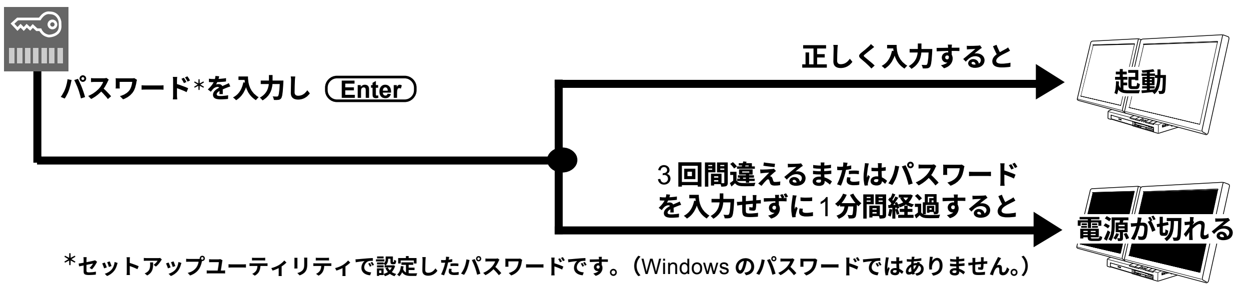
1 電源を入れ、「Press ESC to enter Boot First Menu」が表示されているときに Esc を押す。
パスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定している場合、パスワードの入力が必要です。

2 メニューから起動するデバイスを選び、 Enter を押す。

- ・選択したデバイスから起動できない場合、または起動時に起動デバイスを選択しなかった場合は、セットアップユーティリティの「起動」メニューの設定順で起動します。（☞ 操作マニュアル『セットアップユーティリティ』）
- ・セットアップユーティリティの設定を変更したい場合は、メニューから「Enter Setup」を選んでください。
- ・以降の手順は、オペレーティングシステムをハードディスクから起動した時の手順です。CD ドライブまたはフロッピーディスクドライブからの起動は、それぞれの手順に従ってください。

●画面に が表示されたら ...

本機のセキュリティのため、パスワード（☞ 操作マニュアル『セキュリティ機能』）が設定されています。



*セットアップユーティリティで設定したパスワードです。（Windows のパスワードではありません。）

2 Windows 2000

パスワードを入力する

ハードディスク状態表示ランプ (🛢) が消えて10秒以上たってから、ユーザー名とパスワードを入力して [OK] を選びます。正しいユーザー名とパスワードを入力するまで操作できません。

Windows XP

ユーザーを選ぶ（複数のユーザーが設定されている場合のみ）

ハードディスク状態表示ランプ（🛢）が消えて 10 秒以上たってから、ユーザーを選びます。
ここでの操作は、「ようこそ画面を使用する」の設定により異なります。(☞11 ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」)

お知らせ

以下の場合は自動ログオンとなり、ユーザーを選ぶ画面は表示されません。
- ユーザーが一人だけ作成されており、パスワードが設定されていない。
- Guestアカウントが無効。
- 「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている。

3 操作をする

各種アプリケーションソフト等を起動し、操作を始めてください。

お知らせ

- 工場出荷時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと画面が消えます（電源表示ランプは緑色に点灯)。この場合、マウスかキーボードの操作を行うと画面が元の状態に戻ります。
  Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。
- 前回操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら ...
  スタンバイ・休止状態と呼ばれる機能（☞操作マニュアル『スタンバイ・休止状態』）を使って操作を終わると、前回操作を終えたときに表示していた画面が表示され、すぐに操作を再開することができます。

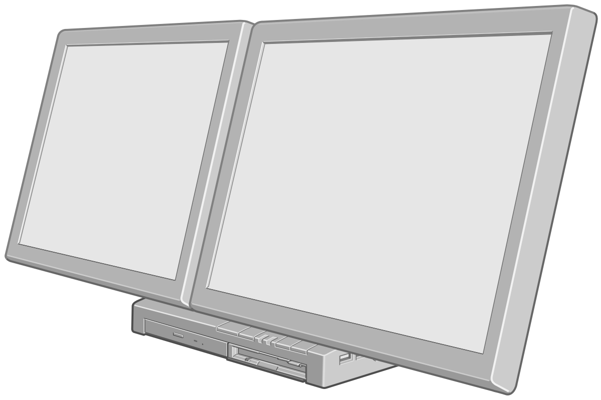
操作を始める／終わる

ダブルディスプレイモデルでは、ディスプレイの配置を変えたり、90度回転させたりすることができます。

ダブルディスプレイをセッティングする

●並列セッティング

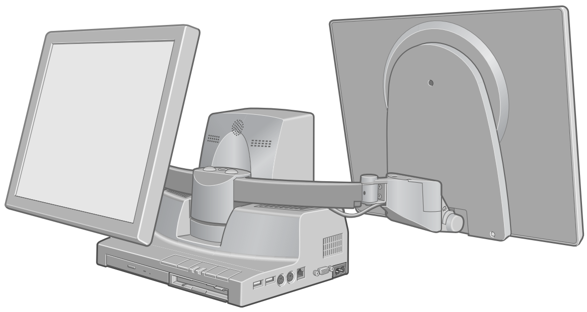
こんなときに便利
・一度に複数のウィンドウを開けて操作するとき
・ワイドな画面を表示するとき
など

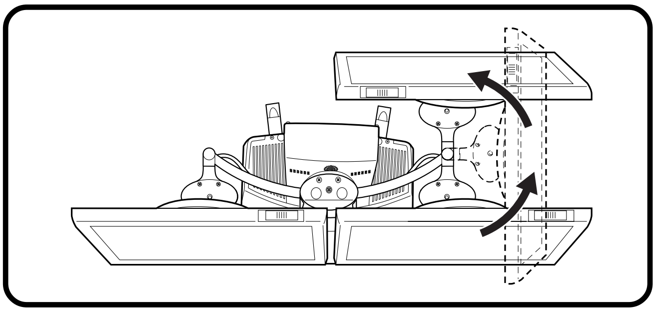


●対面セッティング

片方のディスプレイを 180 度回転させてセッティングすることができます。

こんなときに便利
・数人で同じ画面を見るとき
操作する人で画面が見えない場合、一方を操作する人用、もう一方を見る人用にすれば、見やすくなります。
・対面業務のとき
操作する人と対面している人で、別々の画面を表示しながら説明できます。





ディスプレイのセッティングにあわせて、動作環境の設定（☞ 操作マニュアル『ダブルディスプレイ』）を行ってください。

ディスプレイを回転させる

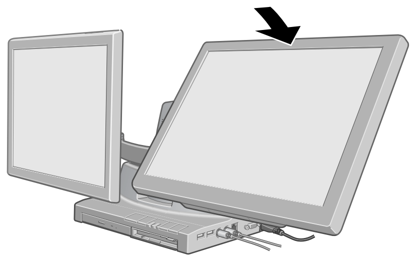
＜ XGA ディスプレイ搭載モデルのみ＞

ダブルディスプレイモデルでは、ディスプレイを 90 度回転させることができます。Windows を使用中にディスプレイを回転させると、画面表示も自動的に回転します。

お知らせ

- ディスプレイを縦長にしていると、画面が正しい向きで表示されない場合があります。
  - ・Windows が起動していない状態（電源オン直後、セットアップユーティリティの画面など）
  - ・コマンドプロンプトを最大化表示した場合
- 電源オフ、スタンバイ、休止状態でディスプレイを回転させると、Windows のログインの画面が正しい向きで表示されません。ログインが完了すると、正しい向きで表示されます。
  また、「パスワードによる保護」にチェックマークを付けたスクリーンセーバーが動作中にディスプレイを回転させると、スクリーンセーバー解除時のパスワード入力画面が正しい向きで表示されません。正しいパスワードを入力して［OK］を選ぶと、正しい向きで表示されます。
- 「画面のプロパティ」で表示色を 256 色にしている場合、ディスプレイを回転させても画面表示は回転しません。
- Media Player などで動画を再生中は、ディスプレイを回転させても画面表示が回転しない場合があります。

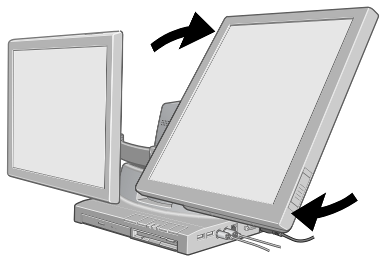
1 ディスプレイを後ろに傾ける



2 ディスプレイを回転させる

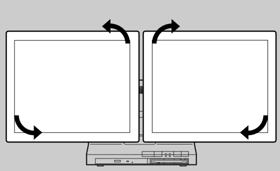
お知らせ

ディスプレイを回転させると、ウィンドウの位置や大きさが変わったり、マウスカーソルの位置が移動したりする場合があります。ウィンドウが見えなくなった場合は、ディスプレイを元の角度に戻してウィンドウの位置を調整した後、再度ディスプレイを回転させてください。

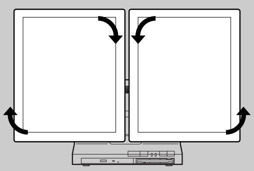


お願い

ディスプレイは、右図の方向にしか回転しません。逆方向に回転させようとしないでください。

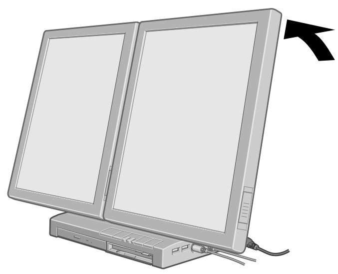


横長から縦長への回転



縦長から横長への回転

3 ディスプレイを元の角度に戻す



操作を始める／終わる

マウスを使う

マウスの操作には、「クリックする」「ダブルクリックする」「ドラッグする」の3種類の基本操作があります。また、マウス中央のホイールボタンでスクロールやオートスクロールなどの機能が使えます。
通常は左ボタンを使います。操作やアプリケーションソフトによっては、右ボタンを使う場合もあります。



操作を終わる（電源を切る）

スタンバイ・休止状態機能（☞操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）を使わずに操作を終わります。

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する

2 終了画面を表示する

Windows 2000　[スタート]-[シャットダウン]を選ぶ。
Windows XP　[スタート]-[終了オプション]を選ぶ。

お知らせ

キーボードを使って終了画面を表示するとき
Windows 2000　[Windowsキー]（または Ctrl + Esc ）を押し、「シャットダウン」を選びます。
Windows XP　[Windowsキー]（または Ctrl + Esc ）を押し、「終了オプション」を選びます。

3 終了を確認し、電源を切る

Windows 2000　[シャットダウン]を選んで[OK]を選ぶ。
Windows XP　[電源を切る]を選ぶ。
自動的に電源が切れます。

●電源を切らずに、起動し直したい。（再起動）

Windows 2000　[再起動]を選んで、[OK]を選ぶ。
Windows XP　[再起動]を選ぶ。

お知らせ

- 長期間使用しないときは、節電のため電源コードを抜いてください。電源オフで電源コードを接続している状態では、約0.9 W～約3.5 Wの電力を消費します。（☞33ページ）
- 次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい場合は、スタンバイと休止状態と呼ばれる機能があります。（☞操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）

操作マニュアル

操作マニュアルは、画面で見ることができるオンラインマニュアルです。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。
周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティの設定方法など、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。

操作マニュアルを起動する

1 電源を入れる

2 Windows 2000
[スタート] - [プログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [操作マニュアル] を選ぶ
Windows XP
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [操作マニュアル] を選ぶ
もくじが表示されます。見たい項目を選んでください。

はじめて操作マニュアルを起動したときは、Acrobat® Reader の「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。内容を確認の上、[同意する] を選んでください。

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見にくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Reader の下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターに接続している場合は、印刷しておくことをおすすめします。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

Windows XP
- ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、PDFファイルが正しく印刷されない場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

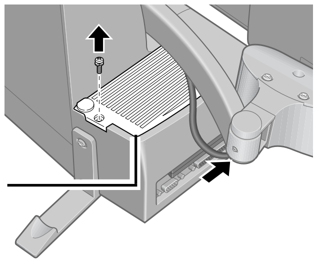
保管・持ち運び・お手入れ

製品全般の取り扱い

お手入れ

●ディスプレイ：　ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

●通風孔内：　通風孔内のアミにほこりやごみなどがたまった場合は、本体の電源を切った後、通風孔カバーを取り外し、通風孔内(アミ部)に付着したほこりを掃除機などで吸い取ってください。



●ディスプレイ以外の部分：　水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

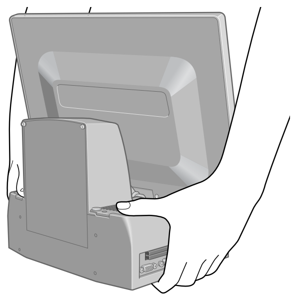
お願い

●ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
●水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

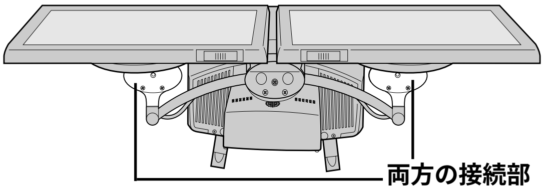
操作の方法

持ち運び

●フロッピーディスクは取り出しておいてください。
●電源を切り、電源コードを抜いてから持ち運んでください。
●外部装置、ケーブル、本体から突き出たPCカードはすべて取り外してください。
●落としたり、机の角など固い物にぶつけないよう注意してください。
●ディスプレイ部だけを持ったり、片手で持ったりしないでください。
シングルディスプレイの場合　：ディスプレイ面を手前にし、底面を持ち上げてかかえ込むようにして両手で持ってください。



ダブルディスプレイの場合　：　アームやディスプレイがネジで固定されていることを確認し、背面側から両方のディスプレイの接続部（イラストで示した部分）を両手で持ってください。
接続部以外の部分を持つと、バランスが崩れて落下したり、故障したりする場合があります。



保管

直射日光のあたる場所や、極端に高温または低温の場所に置かないでください。

マウスのお手入れ

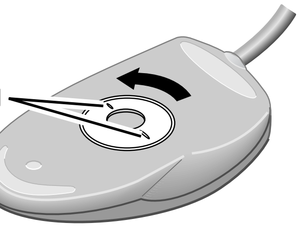
画面のマウスカーソルが思いどおりに動かない場合、マウスの中のボールにゴミやほこりが付いていることがあります。このようなときは、マウスのクリーニングを行ってください。

1 マウスを取り外す

本体の電源を切った後、マウスを取り外します。

2 裏側のふたを外して、ボールを取り出す

マウスを裏返して、ふたの2か所の目印を指で押さえながら反時計回りの方向に回してふたのロックを解除します。
マウスを傾けてふたを外し、中のボールを取り出します。

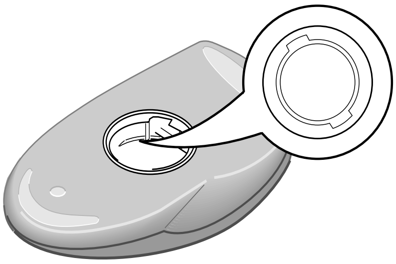


3 ボールを洗い、ふたとローラーをふく

石けんか台所用洗剤（中性）を溶かした温水でボールを洗い、よく水洗いしてから、乾いた柔らかい布でふいて乾かします。
ふたの表面、マウスの中のローラーを乾いた柔らかい布でふきます。

4 ボールとふたをはめ込む

ボールを元どおりにはめ込み、ふたを取り付けて、時計回りの方向に回して固定します。



5 マウスを取り付ける

マウスを元どおりに取り付けます。

操作の方法

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードが正しく接続されているか確認してください。
0251 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。－デフォルト値が設定されました。	CMOSデータがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 ● セットアップユーティリティでいったん工場出荷時の設定（デフォルト設定）にした後、適切な値に設定し直してください。 ● それでもエラーになる場合は、CMOSバックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。
0271 Check date and time settings	システムの日付と時間が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時間を正しく設定してください。
0280 起動を3回失敗しました。－デフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてからOSが起動するまでに、3回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。なお、正しくOSを起動すれば表示されることはありません。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230 システムRAMエラー。 オフセットアドレス：nnnn 0231 シャドウRAMエラー。 オフセットアドレス：nnnn 0232 拡張RAMエラー。 オフセットアドレス：nnnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。－バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOSバックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。 －キャッシュは使用できません。	CPUの故障です。
02F5 DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

困ったときのQ&A

本機を動かそうとして、思ったとおりに動かなかったり、おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。操作マニュアルでも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

●電源を入れたとき

電源表示ランプが点灯しない	●電源コードが、正しく接続されていますか？ ●電源コードを本体から取り外し、接続し直してください。
USB機器を接続していると、本機が起動しない	一部のUSB機器を接続していると本機が起動しない場合があります。USB機器を外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。
が表示された	セットアップユーティリティで設定しているパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
エラーコード・メッセージが表示された	☞ 20 ページ
Windowsの起動および動作が極端に遅い	セットアップユーティリティを起動してください。 「デフォルト設定する」[*1]を選び、いったん工場出荷時の設定（パスワード設定を除く）に戻した後、再度各種設定[*2]をしてください。 （動作は使用するアプリケーションに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。）
日付と時刻が正しく表示されない	● 次の項目を使って訂正してください。 Windows 2000 ［コントロールパネル］-［日付と時刻］ Windows XP ［コントロールパネル］-［日付、時刻、地域と言語のオプション］-［日付と時刻］ ●正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。 ●LAN（ネットワーク）に接続している場合、サーバーの日付 / 時刻を確認してください。 ●西暦 2100 年以降は、日付と時間が正しく認識されません。
「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key.」などが表示される	●システムを起動できないフロッピーディスクが、ドライブにセットされたままになっていることを意味します。この場合、フロッピーディスクドライブからディスクを抜いて、何かキーを押してください。 ●フロッピーディスクが、入っていないのに左記のメッセージが表示される場合、ハードディスクをフォーマットしたか、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。この場合、ご相談窓口にご相談ください。
Administrator またはコンピューターの管理者のパスワードを忘れた	● Windows 2000 再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。 Windows XP パスワードリセットディスク（☞ 11ページ）を作成していた場合は、パスワードの入力に失敗すると、メッセージが表示されます。メッセージに従って、パスワードを再設定してください。パスワードリセットディスクを作成していなかった場合は、再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。

*1 セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合、「デフォルト設定する」は表示されません。
*2 内蔵のLANコネクターによるネットワーク接続をしない場合、「デフォルト設定する」を選んだ後、「LAN」を「無効」に設定してください。スタンバイ・休止状態からリジュームするまでの時間やコンピューターが起動するまでの時間が短くなります。

困ったときのQ&A

●電源を入れたとき（つづき）

Windows 2000 スタートメニューの一部しか表示されない	●簡易メニュー表示機能（よく使用するメニューを優先的に表示し、その他のメニューを隠す機能）が働いています。 をクリックすると、その下にあるメニューが表示されます。 ●常にすべてのメニューが表示されるようにするには、[スタート]-[設定]-[タスクバーとスタートメニュー]を選び、「頻繁に利用するメニューを優先的に表示」のチェックマークを外してください。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、が表示されない	セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはパスワード入力は要求されません。代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]でユーザーのパスワードを設定し、[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。 Windows XP [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で変更するアカウントを選び、パスワードを設定し、[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]の「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。
その他の問題が起こる場合	●セットアップユーティリティを起動し、F9を押して、いったん工場出荷時の設定（パスワード設定を除く）に戻してください。 ●周辺機器を取り外してみてください。 ●起動時、パスワードの入力、ログオンの操作、ユーザーの選択は、ハードディスク状態表示ランプ（）が消えてから10秒以上たってから行ってください。 ●[マイコンピュータ]の[ローカルディスク(C:)]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選び、[ツール]-[チェックする]を選ぶ。 Windows 2000 ・起動時、「Windowsを起動しています」が表示されているときに F8 を押し、セーフモードで起動して、エラーの内容を確認してください。 Windows XP ・起動時、F8 を押し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。

●画面表示

電源を入れた後、画面に何も表示されない	●輝度（明るさ）を調整してください。（☞ 31ページ） ●外部ディスプレイの画面に何も表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイは正しく設定されていますか？
電源を切っていないのに、しばらくしたら画面に何も表示されなくなった	●省電力の設定をしていますか？ Ctrl などのキーを押すかマウスを操作して、省電力のため画面が消えた状態になっていないか確認してください。 ●電力の消費を抑えるため、自動的にスタンバイ・休止状態に入っている場合があります。
画面に赤・青・緑のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	●イメージが画面に焼き付き、残像となることがありますが、異常ではありません。別の画面が表示されると残像は消えます。 ●カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯（赤・青・緑）するものがあります。これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）

困った時は

●画面表示（つづき）

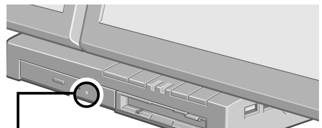
マウスカーソルが動かない	マウスを正しく接続し、キーボードで操作してコンピューターを再起動してください。 キーボードを使って再起動するとき Windows 2000 (Windows) (または Ctrl + Esc)を押し、「シャットダウン」を選びます。 Windows XP (Windows) (または Ctrl + Esc)を押し、「終了オプション」を選びます。
外部ディスプレイに正しく表示されない	コンピューターの省電力モードに対応していないディスプレイを使っている場合、省電力のために画面が消えると、それ以降、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
画面が乱れる	画面の色数を変更した場合は再起動してください。
Windows 2000 ディスプレイを回転させたあと、画面表示が正しい向きに回転しない	●「画面のプロパティ」で表示色を 256 色にしている場合、画面表示は回転しません。ディスプレイを回転させる場合は、表示色を 256 色以外に設定してください。 ● Windows が起動していない状態、コマンドプロンプトを最大化表示した状態では、画面表示が正しい向きで表示されません。 ●両方のディスプレイを横長の状態にして画面の解像度を 1024 x 768 ドットに変更してから、ディスプレイを回転させてください。 ●上記の操作をしてみても正しく回転しない場合、Windows を再起動してください。
Windows XP タスクバーのアイコンが隠れて見えない	タスクバーを右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選んで、[タスクバー]の[アクティブでないインジケータを隠す]のチェックマークを外してください。

●ディスクの操作

フロッピーディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	●フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ●フロッピーディスクは正しく初期化（フォーマット）されていますか？ ●セットアップユーティリティで、「フロッピー操作」を「有効」に設定していますか？（☞操作マニュアル『セットアップユーティリティ』） ●フロッピーディスクの内容が壊れている場合があります。
フロッピーディスクへの書き込みができない	フロッピーディスクが書き込み禁止になっていませんか？
フロッピーディスクを初期化する方法がわからない	● [マイコンピュータ] - [3.5インチFD(A:)] - [ファイル] - [フォーマット]を選び、ディスクの容量やフォーマットの種類を確認してフォーマットを開始してください。 Windows 2000 ● 1.2 M バイトのフォーマットを行うには、3 モードドライバーのインストールが必要です。（☞ 操作マニュアル『技術情報』） [マイコンピュータ] - [3.5インチFD(A:)] - [ファイル] - [フォーマット]で、[容量]の項目で 1.2 M バイトフォーマットが選択できる場合はすでにインストールされています。 Windows XP ● 1.2 M バイトおよび 720 K バイトのフォーマットを行うことはできません。
ハードディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	●ドライブやファイルの指定に誤りがないか確認してください。 ●ハードディスクの空き容量は足りていますか？ ●ハードディスクの内容が壊れている場合があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。

困ったときのQ&A

●ディスクの操作（つづき）

CDでトラブルが発生した	指定の方法（☞操作マニュアル『CDドライブ』）で、レンズやCDのクリーニングを行ってください。
アクセスランプが点灯しない	CDは正しくトレイにセットされていますか？
CDの再生や読み出しができない	● CDが変形していたり、傷や汚れが付いていませんか？ ● セットアップユーティリティで、「CD操作」を「有効」に設定していますか？（☞操作マニュアル『セットアップユーティリティ』）
突然、MPEG画像が残った青い画面になった	CDドライブから、MPEGのCDを取り出しませんでしたか？ CDをセットして Enter を押してください。
CDドライブの振動が大きい	● 変形したCDや、ラベルをはったCDを使用していませんか？
CDが取り出せない	コンピューターの電源が入っていますか? 電源が入っていない状態でCDを取り出すには、ゼムクリップを引き伸ばしたものなどをエマージェンシーホールに挿し込んで、トレイを引き出してください。 
1.2 Mバイトフロッピーディスクで読み出しも書き込みもできない	3モードドライバーはインストールされていますか？（☞ 操作マニュアル『技術情報』）
上記以外の場合	他のドライブやメディアで試してみてください。

●文字入力

日本語が入力できない	ツールバーの表示が「あ」になっていますか？「あ」が表示されていない場合は、日本語入力モードになっていません。 半角／全角 で日本語入力モードにしてください。
アルファベットを小文字で入力したいのに大文字で表示される	キーボードのCaps Lockランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合、大文字入力モードになっています。解除するには、Shift + Caps Lock を押します。
欧文特殊文字（ßàçなど）や記号が入力できない	以下の手順で文字コード表を表示し、フォント名を欧文用フォントなどに指定して、入力したい文字を選んでください。 Windows 2000 ：[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [文字コード表] Windows XP ：[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [文字コード表]

●操作マニュアルの問題

操作マニュアルを表示できない	Acrobat® Readerがインストールされていますか？ インストールされていない場合は、[スタート] - [ファイル名を指定して実行]を選び、「c:\util\reader\ar500jpn.exe」（CF-82JP/KPシリーズの場合は「c:\util\reader\ar505jpn.exe」）を起動し、画面に従ってインストールしてください。 その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューからオンラインマニュアルを起動できません。
同じ項目内の前後のページに移動できない	同じ項目内の前後のページを表示するには、タイトルの下に表示されている ⇐ と ⇒ を選んでください。

困った時は

●ユーザーの簡易切り替え機能 Windows XP

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない	● ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 ・アプリケーションソフトが正しく動作しない（PDFファイルが正しく印刷されないなど） ・画面の設定ができない このような場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

● Windows を終了または再起動するとき

Windows が終了しない、または再起動できない	●音楽再生中は、電源を切らないでください。 ● USB 機器を接続している場合は、一度取り外してから試してください。 ● LAN は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windows が終了しなかったり、再起動できなかったりします。 LAN の設定については、接続サービス会社(プロバイダー)や会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。 (☞ 『操作マニュアル』「LAN 機能」) ● Windows が終了しない場合は、 4 秒以上電源スイッチを押して電源を切ってください。

●その他

ハングアップした	● MPEGファイル再生中に画面の切り替え（[コマンドプロンプト]の全画面表示など）を連続して行わないでください。 ● 入力待ち画面などが別のウィンドウで隠れていませんか？ Alt + Tab で表示されている画面を確認してください。 ● Ctrl + Shift + Esc を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 電源スイッチを4秒以上押して電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、以下の手順でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。 Windows 2000 [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除] Windows XP [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]
音がでない	●音量調整ボタンを押して音量を最小にしていたり、ミュートにしていませんか？ セットアップユーティリティで「スピーカー」を「有効」に設定していますか？ ●Windows Media Playerで音楽再生中にスタンバイ・休止状態機能を使うと、リジューム後再生が始まらない場合があります。この場合は、Windows Media Playerを起動し直してください。

再インストールのしかた

お客様が作成したデータは、必ずバックアップをとっておいてください。
再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- **データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作・誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。**

再インストールの前に

●準備する
- ●プロダクトリカバリー CD-ROM
- ●[バックアップディスク作成] * で作成したファーストエイド FD、アップデート FD（☞ 10 ページ、手順 9 でアップデート FD を作成した場合）

* 作成する必要がない場合があります。

●以下の点を確認する
- ●PC カード等の周辺機器は、すべて取り外してください。

再インストールする

お願い

バックアップディスクを作成する必要があったにもかかわらず、バックアップディスクを作成していなかった場合は正常な状態に戻りません。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。

1 コンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、[F2] を押し、セットアップユーティリティを起動する。

2 セットアップユーティリティの現在の設定内容を紙などにメモしておいてから、[F9] を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、[Enter] を押す。

3「起動」メニューで「CD ドライブ」を選び、[F6]を押して、「CD ドライブ」が 1 番目になるように設定する。

4「プロダクトリカバリー CD-ROM1」を CD ドライブにセットする。

5 [F10]を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、[Enter] を押す。
コンピューターが再起動します。
<CF-82JP/KPシリーズの場合>
以下の画面が表示されます。

```
番号を選択してください。

1. Windows を再インストールする。
2. セキュリティのためハードディスクのデータを消去する。
3. 中止する。
```

[1]を押して「1.Windows を再インストール」を実行する。

6 再インストールを実行するための条件が表示されたら、同意する場合は [1]を押し、同意しない場合は[2]を押す。
[1]を押すとメニュー画面が表示されます。
[2]を押すと再インストールが中止されます。

7 メニュー画面から、どの操作を実行するかを選ぶ。
<CF-82JS/KS/LD/MDシリーズの場合>

Windows 2000

```
番号を選択してください。

1. ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す
2. 最初のパーティションに Windows 2000 を再インストールする
3. 終了
```

Windows XP

```
番号を選択してください。

1. ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す
2. 最初のパーティションに Windows XP を再インストールする
3. 終了
```

- [2] を選ぶには、最初のパーティションのサイズは約6 Gバイト必要です。
小さなパーティションには再インストールできません。

困った時は

＜CF-82JP/KPシリーズの場合＞

Windows 2000

番号を選択してください。
1. ハードディスク全体に Windows(R) 2000 Professional を再インストールする。 2.OS 用とデータ用の2つのパーティションを作成して、OS 用パーティションに Windows(R) 2000 Professional を再インストールする。（既存のパーティションはすべてなくなります。） 3.最初のパーティションに Windows(R) 2000 Professional を再インストールする。 4．再インストールを中止する。

Windows XP

番号を選択してください。
1. ハードディスク全体に Windows(R) XP Professional を再インストールする。 2.OS 用とデータ用の2つのパーティションを作成して、OS 用パーティションに Windows(R) XP Professional を再インストールする。（既存のパーティションはすべてなくなります。） 3.最初のパーティションに Windows(R) XP Professional を再インストールする。 4．再インストールを中止する。

● [2] を選んだ場合は、オペレーティングシステムのインストールに使用する基本パーティションのサイズを入力し、 Enter を押してください。
　・入力した数字を設定できる最大のサイズから引いた残りがデータ用パーティションサイズになります。

● [3] を選ぶには、最初のパーティションのサイズは約6 Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

8 確認のメッセージが表示されたら Y を押す。
再インストールが始まります。

お願い

● 再インストールを途中で中止しないでください。
● 途中で次のCD に入れ替える指示が表示されたら、画面に従ってプロダクトリカバリーCD-ROMを順にCD ドライブにセットし、[OK]を選んでください。

コピーなどが終了し再インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。

＜CF-82JS/KS/LD/MDシリーズの場合＞

Windows 2000

リブートするとWindows 2000 のセットアップが始まります。 その後、再インストールを続けます。 フロッピーディスク、およびプロダクトリカバリーCD-ROMを取り出し、 システムを再起動してWindows 2000を起動し、指示にしたがってください。

Windows XP

リブートするとWindows XP のセットアップが始まります。 その後、再インストールを続けます。 フロッピーディスク、およびプロダクトリカバリーCD-ROMを取り出し、 システムを再起動してWindows XPを起動し、指示にしたがってください。

＜CF-82JP/KPシリーズの場合＞

Windows 2000

再起動すると Windows(R) 2000 Professional のセットアップが始まります。 プロダクトリカバリー CD-ROM を取り出し、Ctrl + Alt + Delete(Del) キーを押して再起動してください。

Windows XP

再起動すると Windows(R) XP Professional のセットアップが始まります。 プロダクトリカバリー CD-ROMを取り出し、Ctrl + Alt + Delete(Del) キーを押して再起動してください。

9 プロダクトリカバリーCD-ROMを取り出し、Alt + Ctrl + Delete を押してコンピューターを再起動する。

10 「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに F2 を押してセットアップユーティリティを起動する。

11 F9 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。
● セットアップユーティリティの設定は、工場出荷時の設定に戻っています（パスワードを除く）。必要に応じて各種設定を変更してください。

12 F10 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

13 再起動後、Windowsをセットアップする。（8〜10ページ手順*8*）
＜「アップデートFD」がある場合＞
アップデートFD内のREADME.TXTを参照して操作してください。

＜ドライブ文字を変更する＞

以下の手順でCDドライブやハードディスクドライブのドライブ文字を変更することができます。

● ハードディスクドライブは、パーティションを2つ以上作っている場合のみ変更できます。ただし、Cドライブは変更できません。
● アプリケーションソフトをインストールする前に行うことをおすすめします。

Windows 2000

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [管理ツール] - [コンピューターの管理] を選ぶ。
2 [記憶域] の [ディスクの管理] を選ぶ。

（次ページへ）

3 ハードディスクのパーティションまたはCD ドライブ名を右クリックして、[ドライブ文字とパスの変更] を選ぶ。

4 [編集] を選ぶ。

5 [ドライブ文字の割り当て] を選び、新しいドライブ文字を選んで、[OK] を選ぶ。

6 確認メッセージが表示されたら、[はい] を選ぶ。

Windows XP

1 [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [管理ツール] - [コンピューターの管理] を選ぶ。

2 [記憶域] の [ディスクの管理] を選ぶ。

3 ハードディスクのパーティションまたはCD ドライブ名を右クリックして、[ドライブ文字とパスの変更] を選ぶ。

4 [変更] を選ぶ。

5 [次のドライブ文字を割り当てる] を選び、新しいドライブ文字を選んで、[OK] を選ぶ。

6 確認メッセージが表示されたら、[はい] を選ぶ。

ソフトウェア使用許諾書

第１条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルやCD-ROMなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、本コンピューター1 台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第６条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第6 条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

第8条　輸出管理
お客様が、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国内外の輸出管理に関する法規を順守してください。

ハードディスクの内容をすべて消去する

＜ CF-82JP/KP シリーズのみ＞

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去します。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

> **ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客様の損害については補償いたしかねます。**

データ消去の前に

●準備する

- プロダクトリカバリー CD-ROM

●以下の点を確認する

- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

データをすべて消去する

1 コンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、 F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

2 「起動」メニューで「CDドライブ」を選び、 F6 を押して、「CDドライブ」が1番目になるように設定する。

3 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をCDドライブにセットする。

4 F10 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。
コンピューターが再起動し、以下の画面が表示されます。

> 番号を選択してください。
>
> 1. Windows を再インストールする。
> 2. セキュリティのためハードディスクのデータを消去する。
> 3. 中止する。

5 「2 .セキュリティのためハードディスクのデータを消去する。」を選ぶ。

6 確認のメッセージが表示されたら、 Y を押す。
ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。

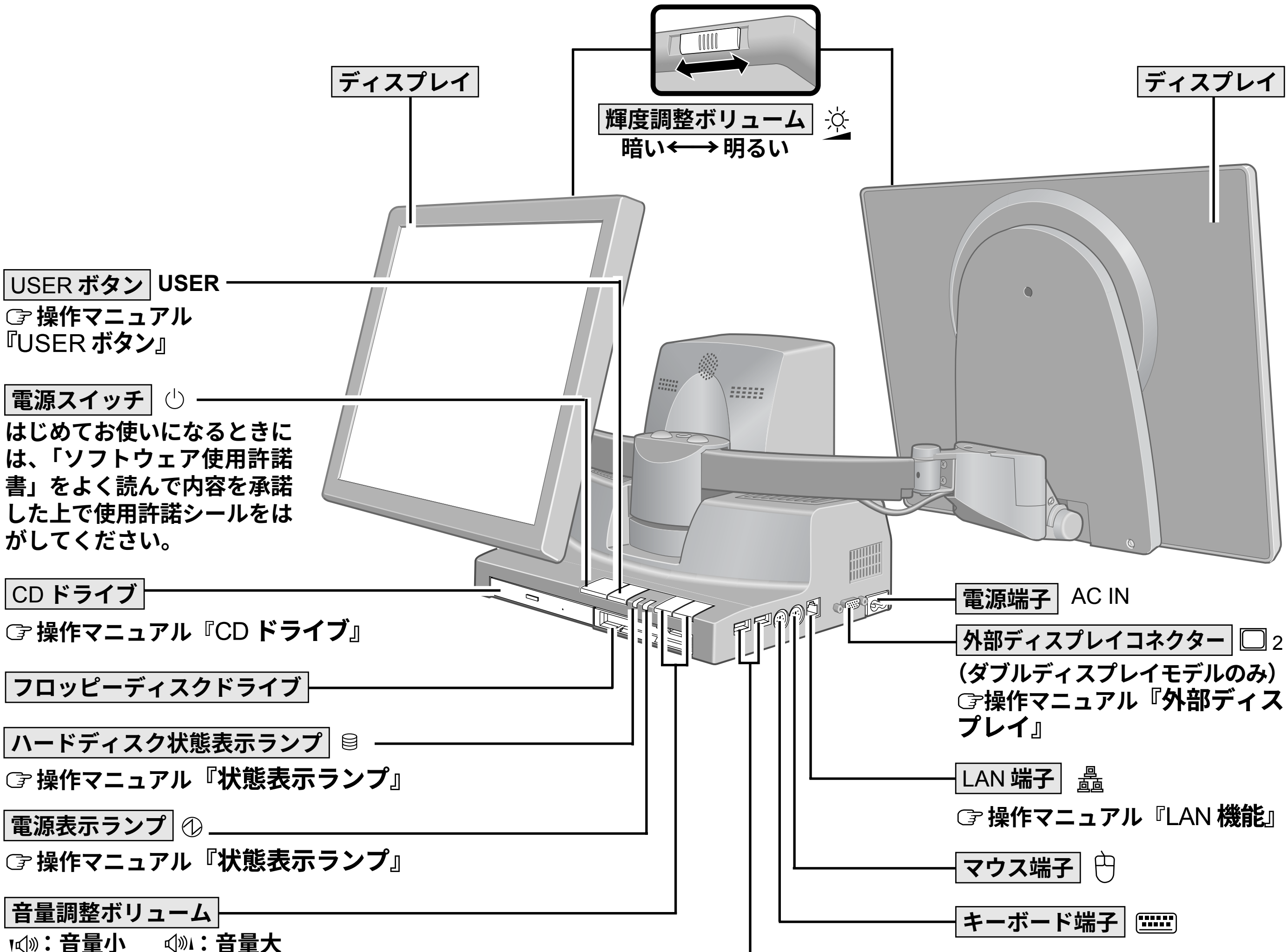
7 「<<<スタートメニュー>>>」で Enter を押す。

8 消去にかかるおおよその時間が表示されたら、 Space を押す。

9 確認メッセージが表示されたら、 Enter を押す。
ハードディスクのデータ消去が開始されます。
(万一、途中でデータ消去を中断する場合は、 Ctrl + C を押して中断することができますが、
すでに消去されたデータは復元されません。)

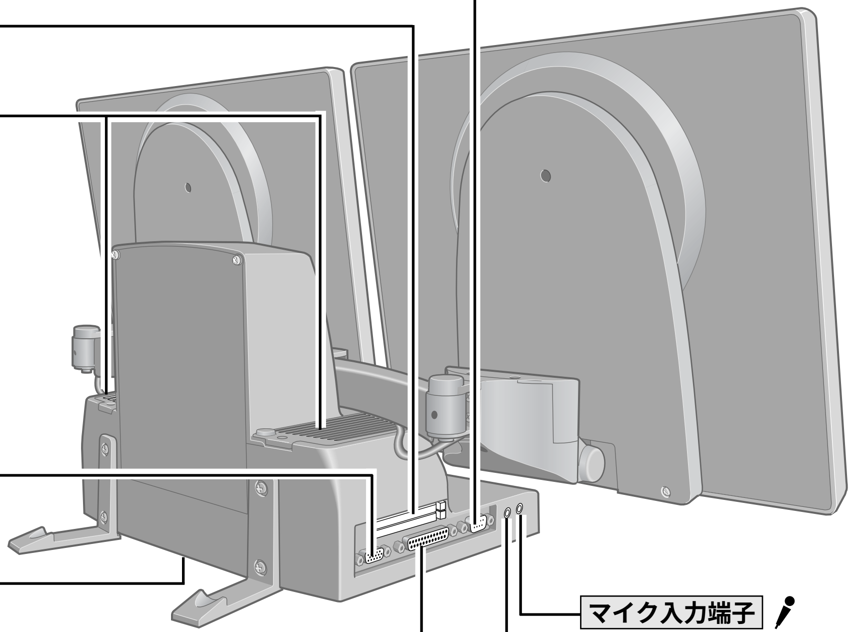
10 完了のメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリーCD-ROMを取り出し、
電源スイッチを押して電源を切る。
何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

各部の名称と働き



- ボタンを押すと音量が変わります。（画面に／表示）
- 両方のボタンを同時に押すとミュートがオン（画面に表示）／オフ（画面に表示）します。ミュートがオンのとき、どちらか一方のボタンを押してもミュートを解除できます。

各部の名称と働き



シリアルコネクター

PC カードスロット

☞ 操作マニュアル『PCカード』

通風孔

⚠注意

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります

外部ディスプレイコネクター 1

☞ 操作マニュアル『外部ディスプレイ』

（底面）

RAM モジュールスロット

☞ 操作マニュアル『RAM モジュール』

パラレルコネクター

☞ 操作マニュアル『プリンター』

オーディオ出力端子

市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。ヘッドホンまたはスピーカーを接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

マイク入力端子

コンデンサー型モノラルマイクロホンの 2 極プラグタイプと 3 極プラグタイプが使用できます。それ以外を使用すると音の入力ができなかったり、故障の原因になります。

仕様　日本国内専用

●本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

機種名		CF-82JSA2S/CF-82JSAXS CF-82KSA2S/CF-82KSAXS	CF-82LDA2S/CF-82LDAXS CF-82MDA2S/CF-82MDAXS	CF-82JPA2S/CF-82JPAXS CF-82KPA2S/CF-82KPAXS
CPU		Intel® Celeron™ プロセッサ 1.2 GHz	Intel® Pentium® 4 プロセッサ 2A GHz	Intel® Celeron™ プロセッサ 2 GHz
キャッシュメモリー(L2)		256 K バイト	512 K バイト	128 K バイト
搭載メモリー（拡張可能メモリー）		128 M バイト（SDRAM、A100 MHz 対応）（最大 512 M バイト）	256 M バイト（DDR-SDRAM、266 MHz 対応）（最大 512 M バイト）*1	
ビデオメモリー		32 M バイト（DDR-SDRAM）		
LCD	タイプ	15 型（TFT カラー）、XGA 対応	15.7 型（TFT カラー）、SXGA 対応	15 型（TFT カラー）、XGA 対応
	解像度（表示色数）	1,024 × 768 ドット（1,677 万色）	1,280 × 1,024 ドット（1,677 万色）	1,024 × 768 ドット（1,677 万色）
外部ディスプレイ出力	解像度（表示色数）	640 × 480 ドット /800 × 600 ドット /1,024 × 768 ドット / 1,280 × 1,024 ドット /1,600 × 1,200 ドット /2,048 × 1,536 ドット（256 色 /65,536 色 /1,677 万色）		
ハードディスク		約 40 G*2 バイト		
フロッピーディスクドライブ		720 K バイト /1.2 M バイト /1.44 M バイトの 3 モード対応*3		
CD ドライブ		最大 24 倍速		
スロット	PC カードスロット	Type I（Type II）× 2 スロット内蔵（Type III × 1 スロットとして使用可能）		
	許容電流（2 スロット合計）	3.3 V または 5 V：400 mA、12 V：120 mA		
	増設 RAM スロット	2 スロット（144 ピン、3.3 V 対応、SDRAM）	1 スロット（200 ピン、2.5 V 対応、DDR-SDRAM）	
インターフェース	外部ディスプレイコネクター	ミニ Dsub 15 ピン（ダブルディスプレイモデル × 2）		
	パラレルコネクター	ECP 対応 Dsub 25 ピン		
	シリアルコネクター	RS-232C Dsub 9 ピン		
	オーディオ出力端子	ステレオミニジャック（ヘッドホン出力）		
	マイク入力端子*4	ミニジャック		
	キーボード端子	PS/2 タイプ ミニ DIN 6 ピン		
	マウス端子	PS/2 タイプ ミニ DIN 6 ピン		
	LAN 端子	RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T		
	USB コネクター（Universal Serial Bus）	1.1 準拠 4 ピン × 2*5		2.0 準拠 4 ピン × 2*5
スピーカー		モノラルスピーカー（内蔵）		
サウンド機能		16 ビット /44.1 kHz、PCM 音源 /FM 音源		
電源	入力	AC 100 V、50 Hz/60 Hz		
消費電力	シングルディスプレイモデル	最大 59 W*6	最大 78 W*7	最大 73 W*8
	（社）電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値	76 W	97 W	97 W
	ダブルディスプレイモデル	最大 76 W*6	最大 97 W*7	最大 97 W*8
	（社）電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値	76 W	97 W	97 W
外形寸法	シングルディスプレイモデル	349 mm × 333 mm × 200 mm（幅×高さ×奥行き）		
	ダブルディスプレイモデル	717 mm × 333 mm × 200 mm（幅×高さ×奥行き）		
質量	シングルディスプレイモデル	約 6.9 kg	約 7.5 kg	約 7.3 kg
	ダブルディスプレイモデル	約 11.2 kg	約 11.2 kg	約 11.6 kg
使用環境条件		温度：5 ℃～ 35 ℃　湿度：30 %～ 80 % RH（結露なきこと）		

*1 推奨 RAM モジュール（256 M バイト）を使用した場合。

*2 1 G バイト =10^9 バイト

*3 1.2 M バイトへの対応には、ドライバーのインストールが必要です。Windows XP の場合、OS の制限により、1.44 M バイト以外のフォーマットはできません。

*4 コンデンサー型モノラルマイクロホンのみ使用できます。

*5 USB Boot には対応していません。

*6 電源オフで、電源コードを接続している状態では、約 0.9 W の電力を消費します。（LAN Wake Up 機能（☞ 操作マニュアル『LAN 機能』）を有効に設定している場合は約 1.2 W）

*7 電源オフで、電源コードを接続している状態では、約 3.5 W の電力を消費します。（LAN Wake Up 機能（☞ 操作マニュアル『LAN 機能』）を有効に設定している場合は約 3.6 W）

*8 電源オフで、電源コードを接続している状態では、約 1.2 W の電力を消費します。（LAN Wake Up 機能（☞ 操作マニュアル『LAN 機能』）を有効に設定している場合は約 1.3 W）

仕様 日本国内専用

●付属品仕様

キーボード	JIS 準拠 /109A キーボード
ポインティングデバイス	PS/2 マウス（ホイール機能付き）

●導入済みソフトウェア

機種名	CF-82JSA2S/CF-82KSA2S CF-82LDA2S/CF-82MDA2S	CF-82JSAXS/CF-82KSAXS CF-82LDAXS/CF-82MDAXS
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack2 (NTFS ファイルシステム) Microsoft® Windows® Media Player 7.0 Microsoft® Internet Explorer 5.5 Service Pack2 Security Rollup Package 1	Microsoft® Windows® XP Professional (NTFS ファイルシステム)
ユーティリティープログラム	DMI ビューアー USER ボタンモニター ディスプレイアシスト 外部出力 ON/OFF ユーティリティ Adobe® Acrobat® Reader	

機種名	CF-82JPA2S / CF-82KPA2S	CF-82JPAXS / CF-82KPAXS
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack3 (NTFS ファイルシステム) Microsoft® Windows® Media Player 7.0 Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack1 DirectX 8.1	Microsoft® Windows® XP Professional with Service Pack1 (NTFS ファイルシステム)
ユーティリティープログラム	DMI ビューアー USER ボタンモニター ディスプレイアシスト 外部出力 ON ／ OFF ユーティリティ Adobe® Acrobat® Reader ハードディスク消去ユーティリティ	

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
転居や贈答品などでお困りの場合は…
・「パナソニックパソコン お客様ご相談センター」にご相談ください。

■保証書（別添付）
必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■修理を依頼されるとき
『困ったときの Q&A』にしたがってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
注）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料費です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■海外での使用について
本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

ご相談窓口のご案内

パーソナルコンピューターのパナソニックブランド製品についての技術的なご質問・お取り扱い方法等ご不明な点がありましたら、品番をご確認のうえ、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理に関するご相談

サポートデスク

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-008756（パナコム）

呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

受付時間　月～金（祝祭日を除く）
9時～17時30分

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話 フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック）
ＦＡＸ (06)6905-5079

365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

（2003年2月現在）

・本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
・本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

● 本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
● 漏洩電流について、この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。
● 高調波ガイドライン適合品

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Panasonic　パーソナルコンピューター　CF-82シリーズ　取扱説明書

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検　長年ご使用のコンピューターの点検を！

こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った	▶	このような症状の時は故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグを抜いて、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	品　番*	
販売店名	☎(　　)　－	お近くの当社　ご相談センター ☎(　　)　－	

* 保証書に記載されている品番（例：CF-82JPA2S）を記入してください。

松下電器産業株式会社　IT プロダクツ事業部

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

SS0102-3023
DFQM5485XA